

プレスリリース
2025年9月18日 パリ



KINOTAYO 現代日本映画祭 20周年記念!

2025年11月21日～12月13日

フランス最大の現代日本映画祭「KINOTAYO」が、今年も多彩なプログラム、
新設される賞、そして上映会場の拡大とともに帰ってきます。

第19回となる現代日本映画祭 KINOTAYOは、2025年11月21日（金）から12月13日（土）まで開催されます。オープニングセレモニーおよびクロージングセレモニーは、パリ日本文化会館にて執り行われます。

第19回・20周年を記念した新たな賞
今回の映画祭では、20周年を記念して3つの新しい賞を設立：

- ・若手審査員賞
- ・新人才能賞
- ・日本映画界で活躍する女性を称える賞

これらを通じて女性の功績に光を当て、映画界における存在感と活躍を後押しします。全国へ広がる上映ネットワーク。今年はさらに多くのアート系映画館が新たに参加。パリのカルチエ・ラタンにある「ルフレ・メディシス」「アルルカン」「7パルナシアン」、イヴリー＝シュル＝セヌの「ル・リュクシー」、ラ・ロシェルの国立舞台芸術センター「ラ・クルシーヴ」、ヌーヴェル＝アキテーヌ地方フォーラスの「カジノJOA」、ナントの「ル・コンコルド」、ナンシーの「カメオ・コマンダリー」など、全国規模で日本映画の魅力を広げていきます。

パートナーシップの強化と拡大する影響力

昨年からは始まった提携をさらに深め、国立アジア美術館ギメで開催されるマンガ展と連動した特別プログラムや、デュラック系映画館での新しい上映

企画が実現します。さらに、毎月の定期上映を行っているパリの名所「ルフレ・メディシス」との連携も継続され、日本映画ファンが集う場として定着していきます。映画祭は2026年初頭から6月末にかけて、フランス国内およそ15都市でも展開される予定です。コンペティション部門に加え、特別上映プログラムも準備されています。

映画祭について

KINOTAYO は2006年に創設された、フランスで初めてかつ最大規模の現代日本映画祭です。

日本映画の多様性と豊かさを紹介し、現代日本社会のリアルな姿を伝えることで、日仏間の文化交流を深めることを目的としています。毎年、200本近い日本公開作品から、フランス未公開の長編映画約10本を選出。観客賞である「太陽賞」、審査員賞、グランプリの3つの賞が授与されます。さらにクラシック作品や特集上映も加わり、幅広いラインナップを展開します。

Contacts お問い合わせ先

代表・最高執行責任者
ヌーシャ・サン＝マルタン
ns.kinotayo@gmail.com

広報担当
マキシム・プセ
mp.kinotayo@gmail.com



SNS 公式アカウント：Newsletter | Facebook | Instagram | X | LinkedIn
報道関係者の皆さまへ：取材をご希望の場合は、ぜひご登録ください www.kinotayo.fr

KINOTAYO - FESTIVAL DU CINÉMA JAPONAIS CONTEMPORAIN
10 rue Oswaldo Cruz 75016 Paris France